



行政評価システムを導入

事務事業の改善・改革に着手



▲職員を対象にした行政評価システムの説明会

南あわじ市では、市が行っている事務事業について、目的を明確にしながら客観的に検証を行い、より効率的・効果的で住民にわかりやすい行政運営を進めるため、「行政評価システム」を導入します。同システムは行財政改革の一環として実施するもので、「収入以上の支出をしない身の丈にあった行政経営」と「市民の目線に立った生産性の高い行政経営」を目指し、職員創意と工夫による事務事業

三湯めぐり 共通入浴券を発行

ゆとりつく、さんゆく館、ゆーぽる

南あわじ市内三か所の温泉施設が共通で利用可能な「三湯めぐり共通入浴券」を発行しました。

この券で入浴できるのは、神代杜家のさんゆく館（三原温泉）、北阿万筒井のゆーぽる（筒井・潮崎温泉）、湊のゆとりつく（うずしお温泉）の三か所の温泉施設。入浴券は、一組十一枚つづ



▲三湯めぐり共通入浴券（11枚つづり）

りて大人用が六千円、小人用が三千円。三か所の温泉施設で発売されています。

南あわじ市内の温泉を巡って、体と心を癒してみたいかがでしょうか。

防災ひとくちメモ 「防災ネット」を知っていますか

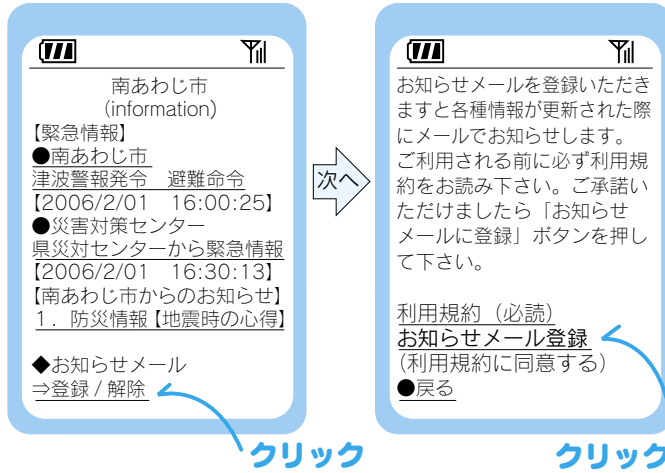
防災課 ☎43-5006
南あわじ市防災ネット
http://bosai.net/minamiawaji/

いつ発生するか分からない自然災害。自宅を離れ、勤務先・外出先でも災害情報を知らせてくれるのが「防災ネット」です。

お知らせします。②「お知らせメール」を登録しておく、各種情報が更新された際にメールでお知らせします。

携帯電話から防災ネット接続方法

- NTTドコモ iモード→Internet→
http://bosai.net/minamiawaji/ を直接入力→アクセス
- au、TU-KA EZメニュー→URLダイレクト入力→
http://bosai.net/minamiawaji/ を直接入力→アクセス
- vodafone (J-Phone) vodafone live! →ウェブ→
インターネットアクセス→新規→http://bosai.net/minamiawaji/ を直接入力→アクセス



年金だより

4月から

国民年金の保険料が改定されます

4月から月々の保険料が2800円引き上げられ、月額13860円となります。これは、年金を支える力と給付のバランスを取るための改定です。

- ▼納めた額の1・7倍以上に基礎年金額の3分の1は国が負担します。国庫負担があることで、若者であっても平均的に長生きをすれば、納付した額の1・7倍以上の年金を受け取ることができる計算となります。
- ▼年金は、老後のためだけにありません。障害基礎年金・遺族基礎年金もあり、万一のときも安心です。
- ▼便利な国民年金保険料の納め方
 - ▽口座振替が便利でお得です。あなたの指定した口座から自動的に引き落され、納付のたびに金融機関などに行く必要もなく大変便利です。1年分や6か月分を一括して前払いで納める前納も口座
- ▼明石社会保険事務所の出張年金相談
 - ◆南淡公民館会場
 - ▽日時 4月7日（金）午前11時～午後3時
 - ▽申込み 3月31日（金）までに市民課（☎43・5023）へ
- ◆洲本市民会館会場
 - ▽日時 3月17日（金）午前10時～午後3時
 - ▽申込み 3月7日（火）までに洲本市役所市民課（☎22・3321）へ

池ノ谷池が竣工

老朽化により貯水機能が低下し、改修工事を進めていた農業用のため池「池ノ谷池」



▲完成を喜ぶ坂本賢次郎建設委員長（左）と坂本孝也塩屋町内会長

（阿万塩屋町）が完成し二月十四日、地元関係者ら約四十人が出席して現地竣工式が行われました。完成したため池は総貯水量三万三千立方メートル、堤防は長さ百三十三・五メートル、幅三・六五メートル、高さ八・三メートル。総事業費は一億二千七百万円。関係農家は阿万塩屋町の八十四戸、受益面積は四十三ヘクタール。同池は老朽化による水漏れ

阿万塩屋町の農業用ため池

が発見され、堤防決壊の恐れもあるため「警戒ため池」の指定を受け、洲本土地改良事務所によって平成十四年度から工事を始めていました。

工事は、漏水を防ぐため粘性度の高い土を突き固めて堤防を築き、ため池の前面にはコンクリートブロックを張って侵食の防止を図っています。また、取水施設として二門の樋管を設置、増水時には堤防の決壊を防ぐための洪水

淡路の宝・慶野松原を守る巡視員を委嘱

国の名勝に指定されている慶野松原を守るため、市教育委員会では一月二十三日、地元の方三人に慶野松原巡視員を委嘱しました。

委嘱を受けたのは、「慶野松原を美しくする会」で清掃や保全活動などを続けている久代勝さん、増井敏さん、原茂雄さん。

同会は昭和四十一年、松帆慶野地区住民約百人で結成され、ボランティアで松葉の清掃や苗木の定植活動などを続

けています。しかし近年、高さ二・三メートルに成長した幼松の幹や枝が折られ、盗まれる被害が目立ち始めたことから、松原を管理する市教育委員会と相談。市では清掃活動時でも不審者などに注意を促すことのできる巡視員制度を創設し、監視体制を強化しました。



▲清掃活動に励む久代さん

久代さんは、「慶野松原は淡路の宝。大切な松を守る活動を続け、巡視員も増やしたい」と話されました。